

福島ネオ工業株式会社

“水”を中心に、環境に優しい取組みを実践、 発信し続け活動の輪を拡大



STEP
A

STEP
B

STEP
C

STEP
D



福島ネオ工業 株式会社

代表取締役
吉川 昭

地域の水環境を守るため、自治体や地域の 仲間へ積極的に発信

私は昭和41年に会社を法人化して以来、公衆衛生の向上のために浄化槽一筋で60年事業を続けてきました。私たちは地方に生きる会社として、一般家庭向けから分譲団地での集中型など様々な目的に応じた浄化槽の工事や販売、保守管理を行い、地域の水処理問題に真剣に取り組んでいます。

事業自体が水や環境に良い影響を与えるため、地球温暖化の問題にも全面的に取り組んでいく必要があると考えています。さらに、私たちの時代に少しでも地球温暖化を遅らせる取組みをしていかなければならない、できるだけ環境に優しいものを使いたいというのが私の想いです。そのため、浄化槽の販売はもちろん、自社家屋の建て替えに伴って太陽光パネルを設置し、LED照明や節水型トイレへ切り替えたほか、社有車に電気自動車を導入しました。これらにより、コスト削減の効果も実感しています。今後も、環境に優しく、コスト削減にもつながる取組みを積極的に進めたいと考えています。

また、私は日本の将来的な人口減少、それに伴う国・地方自治体の財政悪化によって公共下水道の維持が難しくなっていくことをいち早く懸念していました。そこで、20年前から自治体に対して浄化槽の重要性と普及について意見交換会を実施するなど、声を挙げて働きかけ続けてきました。

従業員数

9名

設立

1966年

事業概要

合併処理浄化槽設計・施工・保守管理及び販売、下水道排水設備工事、エレベーター保守管理、オートドア施工・メンテナンス、整水器販売・メンテナンス

自治体への発信だけでなく、私たちの会社の取組みについて、地域の取引先や仲間たちに共鳴してもらう活動も大切です。みんなで取り組み、少しでも良い地域・社会を創っていくことが大事と考えています。そのため、自社で効果を得られた取組みを仲間にも勧めたり、最近では地域の中小企業経営者の集まりで地域や社会の課題を共有するなど、積極的に意見交換を行っています。



地域の小学生へ浄化槽や水・環境について 教え続けて10年

私たちの事業は、地域の水環境を守ることでもあります。そのため、福島市の小学生に向けて浄化槽の構造や仕組み、水や環境について教育を行っています。多い時では年に8回開催し、約10年前から毎年続けています。この教育活動は自社の社員だけでなく、浄化槽に関わる企業の青年部が協力し合



い、ボランティアとして続けており、地球温暖化の面からも「汚したものを必ずきれいに自然界にかえす」ことが非常に大切と考え、これからの将来を担う小学生に伝えています。



健康は宝。健康に対する社員の意識を高めていく

社員は家族のようなものです。社員に安心して働いてもらいたい、健康に対する意識を高め、健康に働き家庭を守ってほしいと考えています。そのための取組みの1つとして、約10年前から福島県の「健康事業所宣言」にエントリーしています。社員一人ひとりには「健康に対してどう取り組むのか」の年間目標を設定してもらい、その進捗を私から確認しています。これまでに、目標としてはウォーキングの実施や禁煙などが設定されています。

また、健康への関心を高めてもらうために、毎月1回、社員に向けて「健康の輪新聞」を配布しています。私自身も禁煙などに取り組んできた中で、健康は宝であり、健康でないと楽しい人生は送れないと実感してきました。そのため、社員へは「健康は自分自身でしっかり管理しなさい」と伝えています。

ここがポイント！

- 環境に優しい取組みを取り入れ、コスト削減にもつながっている
- 環境を良くするための取組みの発信や意見交換会を積極的に行っている
- 健康に対する社員の意識を高めるため、年間の健康目標の設定や情報発信を行っている